

# 「ヒロシマ」から世界をみつめる

**山崎敏夫** 広島県広陵高等学校教諭

**友道健氏** 広島県神辺町立神辺西中学校教諭

**藤原勇次** 広島県立庄原格致高等学校高野山分校教諭

## 総合的な学習の ねらい

平和学習活動として、地域で抱える問題の掘り起こしに、教科・学年の壁を超えて取り組む。生徒は新聞から情報を集めて調べ、まとめる。さらに、報告・発表・討論・取材・投書などにより、多様な学習させたい。

## ① 原点を風化させず、語り継ごう

### 授業の ねらい

- ① 原爆ドームを通して、平和都市としての復興継承のための取り組みに注目させる。
- ② 戦争経験者の高齢化と戦争体験の風化の事実を新聞から読み取り、風化を防ぐための多くの人々のいとなみを理解させる。
- ③ 核兵器投下により予測される惨状を、次代へ語り継ぐ意義を認識させる。

### 授業構成 (2～3時間)

ねらい	おもな学習活動
① 原爆ドームの持つ意味を考えさせる。	① 「原爆ドーム劣化」の記事から、平和都市ヒロシマの象徴として存在してきた原爆ドームの意味と、これからの保存について考える。 ● 世界遺産について調べ、登録された意味を考える。 ● 制定から50年を迎えた「広島平和記念都市建設法」の果たした役割を調べる。 <b>資料①</b>
② 戦争を知らない世代の戦争実感の風化を考えさせる。	② 広島平和記念資料館（原爆資料館）の入館者数の減少や、ヒロシマへの修学旅行の減少を報じる記事から、戦争を知らない世代の戦争実感の風化に気づく。 ● 平和学習の場として、広島への修学旅行をアピールする方法を考える。また、広島を訪れた学校との交流や碑めぐりのガイドなど、主体的に参加する方法を考える。 <b>資料②</b>
③ 外国人被爆者の存在を考えさせる。	③ 「韓国人原爆犠牲者慰霊碑」の記事から、外国人被爆者の存在にも目を向ける。 ● 日本の加害責任の立場から戦争を考える。 <b>資料③</b>
④ 体験の継承の大切さを考えさせる。	④ 「被爆の証言ビデオ完成」の記事から、被爆者の思いと高齢化の現実を知り、体験の継承を絶やさない大切さ、その方法を考える。 <b>資料④</b>

### 評価の 観点

- ① 原爆ドームを通して、平和都市としての復興継承のための取り組みに注目できたか。
- ② 戦争経験者の高齢化と戦争体験の風化の事実を新聞から読み取り、風化を防ぐための多くの人々のいとなみを理解できたか。
- ③ 核兵器投下により予測される惨状を、次代へ語り継ぐ意義を認識できたか。



## ②世界各国の文化・習慣を知ろう

### 授業のねらい

- ①身近な地域から、日本と外国の結びつきについて考えさせる。
- ②世界の国々の実状を自分たちで調べ、興味・関心を持たせる。また、日本との文化や習慣の違いを把握し、世界の人々の生活ぶりをまとめ発表させる。
- ③国際紛争の多さに気づくとともに、紛争の背景にある対立点を理解させる。

### 授業構成 (2～3時間)

#### ねらい

- ①身近なところから、外国地名を探し、調べさせる。
- ②外国を詳しく調べ、発表させる。
- ③調べた国の中で、国際紛争などで報道されている国に注目させる。

#### おもな学習活動

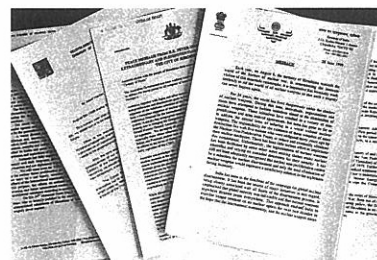
- ①自分たちの住む地域の公園や資料館などで、外国の名前を探し、どんな国か調べる。
  - 広島平和記念公園内の説明板や原爆資料館内で、核保有国名、国際紛争にかかわる国名を探し調べる。
  - 原爆資料館にかかわる新聞記事を参考に、世界地図で位置を確認する。 **資料①**
- ②外国の文化・宗教・歴史・産業などを、新聞記事や資料から調べて発表する。
  - 日本との相違点について発表する。
  - 衣食住や言語・気候など、あらゆる角度から調査し人々の暮らしを想像する。
  - 日本とのかかわりを考える。 **資料②**
- ③国際紛争の背景を考える。
  - ユーゴスラビアのコソボ紛争以外にも、朝鮮半島や台湾海峡における緊張関係、インドネシアと東ティモール、インドとパキスタンの核危機、ロシアとチェチェン共和国の紛争などについても調べてみる。
  - 背景にある民族・宗教・政治などの対立にも目を向ける。 **資料③**

### 評価の観点

- ①身近な地域から、日本と外国の結びつきについて考えることができたか。
- ②世界の国々の実状を自分たちで調べ、興味・関心を持つことができたか。また、日本との文化や習慣の違いを把握し、世界の人々の生活ぶりをまとめ発表できたか。
- ③国際紛争の多さに気づくとともに、紛争の背景にある対立点を理解することができたか。

資料① 1999年8・1付朝刊

## 核廃絶へ願いは一つ



各国の駐日大使から寄せられた平和メッセージ

大使がメッセージを寄せた44カ国 (地域別内訳)

アジア 14カ国	イスラエル、イラン、インド、インドネシア、オマーン、カンボジア、シリア、シンガポール、タイ、トルコ、パキスタン、フィリピン、ブルネイ、マレーシア
オセアニア 2カ国	オーストラリア、フィジー
アフリカ 6カ国	ウガンダ、エジプト、ギニア、ザンビア、ボツワナ、モザンビーク
ヨーロッパ (旧ソ連を含む) 14カ国	アイルランド、イタリア、オランダ、クロアチア、スイス、スウェーデン、スペイン、チェコ、フィンランド、ルーマニア、ユーゴスラビア、ウズベキスタン、ベラルーシ、カザフスタン
南北アメリカ 8カ国	コスタリカ、ドミニカ共和国、メキシコ、アルゼンチン、エクアドル、コロンビア、ブラジル、ペルー

原爆資料館できょうから展示

広島市が百二十六カ国・地域の駐日大使に初めて依頼していた平和メッセージが、四十四カ国の大使から寄せられた。核保有五カ国からは届かなかつたが、昨年、核実験を強行したインド、パキスタン、核保有疑惑のあるイスラエル、旧ソ連時代の核実験による放射能被害を多数抱えるカザフスタンと三分の一を超える国からメッセージが集まった。市は日本領をめぐって一日から三十一日まで、中区中島町の原爆資料館東館で展示する。

ヒロシマを評価  
「不屈の精神の象徴」

44カ国大使から平和メッセージ

広島市が初の依頼



## ③投書によって主張を発信する

### 授業の ねらい

- ①「原爆の日（8・6）」が平和の原点であることを認識し、新聞記事の特集などを読み、戦争のない平和な世界実現のために、何をすべきか考え、自分の主張をまとめ投書させる。
- ②世界の紛争地域に目を向け、現在の問題として「戦争と平和」をとらえ投書させる。
- ③生徒が生活している地域社会を起点に、家族や地域の人々の戦争体験を取材し、戦争と平和について考えたことを投書させる。

### 授業構成〈展開例1〉（2～3時間）

#### ねらい

- ①設定したテーマにそって記事を集め、小論文にまとめさせる。
- ②小論文を発表し、意見を交換させる。
- ③投書させる。
- ④投書欄を読み、意見交換させる。

#### おもな学習活動

- ①自己テーマを設定し、それにそったヒロシマに関する新聞記事を収集・選択後、指定された字数で小論文を書く。
- ②完成した小論文を交換し、それぞれのテーマと内容を読み取り、内容や表現、文章構成などについて批評し合う。
- ③他生徒の批評や教師からの助言などを参考にしながら、文章を完成させ投書する。
- ④投書欄に掲載された中学・高校生の文章を読み、感想や意見を述べ合う。 **資料①**

### 授業構成〈展開例2〉（2～3時間）

#### ねらい

- ①取材（聞き取り）し、小論文にまとめ投書させる。
- ②投書を読み、意見交換する。

#### おもな学習活動

- ①地域社会で戦争体験の聞き取りを行い、録音テープまたは取材メモをもとに指定された字数で小論文を書き、投書する。取材方法も学習する。
- ②投書欄に掲載された同じような戦争体験を聞き取った投書文や、それに対する読者や地域社会の人々から反応が寄せられた投書などを紹介し、意見交換する。また、反応を寄せた人への再投書などの方法で意見を交わし合う。 **資料②**

### 評価の 観点

- ①新聞記事に関心を持ち、社会や自己の課題や問題を発見し、主体的に解決する意欲が高められたか。
- ②新聞記事の内容を把握し、投書文を書く資料として整理できたか。
- ③戦争や平和の問題を自己の課題として、記事に関連する調査や取材をもとに生活実感のともなった投書文を書くことができたか。
- ④戦争や平和の問題を積極的に社会や他者に発信し、交流する意欲が伝わる投書文を書けたか。

資料① 愛媛新聞 左から1999.8.15付朝刊、8.29付朝刊、9.5付朝刊

教科書だけで学べない歴史

春 空(18)
教科書を見るのが私は大好きです。知らないことを私に教えてくれるからです。過去に何が起ころうか、今私がいいるのか、ということを教えてくれるからです。私は過去のすべてを分か

原爆資料館で戦争の怖さ実感

トーマス(14)
今年で戦後54年です。これまで大変な生活だったと祖母から聞きました。食へ物も、飲み物も何もかも配給だったと言っていました。私は実際に、広島への平和ですが、昔は戦争のた

戦争の悲劇思い命大切にしたい

夕風(16)
「腹いっぱい羊食へたい」と題する日付、河田喜嗣男さんの「へんろ道」を読んで、あらためて戦争の悲劇について考えさせられました。戦争を体験したことのない私たちが「戦争は過去の出来事ではない」と考えがちです。しかし、直接戦の日。若くして貴い命を

つづもりでいました。歴史を見なければ、何も分からず一生を過ごすのです。教科書はテストのためだけにあるのですか。歴史は知ってほしいです。学ばないで残されているのではないのでしょうか。未来の私たちが年表だけを学ぶのと同じように、それはとても悲しい未来だと思います。(松山市・女子)

ぞついなものなのか実感しました。また、社会科の間にも戦争のビデオを見たことがありません。戦争があったことを忘れてはいけないし、これから戦争のことを考えていこうと思います。(川之江市・女子)

体験された人や被爆者の方にとっては、こんなに豊になつた今でも、決して「昔のころ」ではないと思つてほしいと思います。(東宇和郡・女子)

資料② 中国新聞 1999.2.10付朝刊(左) 中国新聞 1999.2.6付朝刊(右)

戦中の貧しさ語り継ぎたい

ある夜、祖父から昔の話を聞いているうちに戦争中の体験話になった。祖父は高校一年の時、広島の軍需工場二年間飛行機のエンジンなどを造っていた。その軍需工場は空襲を避け、トンネルの中で製造していたため、祖父は上空を飛ぶ飛行機が飛んでいるのをトネルの出口から見上げていた。祖父は「食べるものがなかったから芋の茎やイナゴ、さらには山に入つてアケビを取って食べ、飢えをしのいでいた。祖父の話を聞きながら、当時の生活を思い出し、今もこの話を忘れないでほしい。」

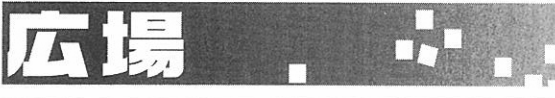
戦争の真実を学んでほしい

著述業 児玉 辰春 70歳
祖父から聞いた戦争中の体験話を内容にした高校生の投稿「戦中の貧しさ語り継ぎたい」(六日付、広場)ヤングスポーツを読んで大いに反省させられた。私は教師だったから授業中はよく戦中の話をしていたが、わが子には話してはいけない。話してやらねばならなかったなあと思う。多くの体験者がそうである。そして何よりも、再びこのようなことにならないように真実を学んでほしいと願った。書くことにより、当時のことが思い出され

高校生 竹森志乃 18歳

私は後に続く子どもたちを助けているが、祖父から聞いたことを話したかったら、耐えられるだろうか。だから、戦争はあつた。

(広島県比婆郡)



広場

てくる。今の十六、十七歳の少年が、死ぬことを覚悟のうで特攻隊に志願したが、敗戦で生き残った実話である。しかも、カッコよい飛行機乗りを志願したのに、飛行機はすでになく、潜水服を着て海底で十時間も待機して上陸してくる敵の船をドカンとやるきびしい訓練をしたという。もちろん命はない。生活も苦しかったが、このようなことに志願していった当時のことも知ってほしいと思う。そして何よりも、再びこのようなことにならないように真実を学んでほしいと願ったのである。(広島市佐伯区)

## ④ 世界平和と私たち

### 授業の ねらい

- ①戦争という事実から平和の大切さを学ばせる。
- ②平和な社会を実現し受け継いでいくために、自分たちができることを討論し、行動する姿勢をはぐくむ。
- ③他者の考え方や生き方を理解することが、国際平和の第一歩であることを理解させる。

### 授業構成 (2～3時間)

#### ねらい

- ①被爆当時、中学・高校生だった人の気持ちを考えさせる。
- ②インターネットを活用し、平和学習の取り組みを調べさせる。
- ③自分たちができる国際平和への貢献を考えさせる。

#### おもな学習活動

- ①被爆当時、中学・高校生だった人々の気持ちを受け止める。 **資料①**
- ②平和学習に対する取り組みをインターネットで検索する。
- ③自分たちができる国際平和への貢献は、生活の身近なところにもある。自分たちができることは何か話し合う。  
●共存、共生の道をさぐる。 **資料②③**

### 評価の 観点

- ①平和の大切さを理解できたか。
- ②平和な社会に貢献するために、行動できる意欲を高めることができたか。
- ③他者の考え方や生き方を理解することが、国際平和の第一歩であることを理解できたか。

## 情報収集・教材・施設等

### ▶ 見学箇所

平和博物館会議の加盟館

- ①広島平和記念資料館  
☎082-241-4004  
<http://www.pcf.city.hiroshima.jp/peacesite/>
- ②埼玉県平和資料館  
☎0493-35-4111  
<http://village.infoweb.ne.jp/~pms>
- ③川崎市平和館  
☎044-433-0171
- ④立命館大学国際平和ミュージアム  
☎075-465-8151  
<http://www.ritsumeit.ac.jp/>
- ⑤大阪国際平和センター  
☎06-6947-7208
- ⑥高松市民文化センター平和祈念室  
☎087-833-7722
- ⑦長崎原爆資料館  
☎095-844-1231

<http://www.us1.nagasaki-noc.ne.jp/~nacity/na-bomb/index.html>

### ⑧ 沖縄県立平和祈念資料館

☎098-997-2874

### ▶ 主なホームページ(カッコ内は概要)

#### 【公的機関】

- ▶ 広島市 (広島の平和・原爆情報)  
<http://www.city.hiroshima.jp/japanese/>
- ▶ ヒロシマピースサイト(原爆資料館資料)  
<http://www.pcf.city.hiroshima.jp/peacesite/>
- ▶ 広島県(原爆ドームのCG、被害データ)  
<http://www.pref.hiroshima.jp/>
- ▶ 広島大学平和科学研究センター  
<http://www.ipc.hiroshima-u.ac.jp/~heiwa/>
- ▶ 広島市立大学広島平和研究所  
<http://serv.peace.hiroshima-cu.ac.jp/>
- ▶ 放射線影響研究所  
<http://www.ref.or.jp/nihongo/experhp/refhomj.htm>

- ▶ 放射線被曝者医療国際協力推進協議会  
<http://www.hiroshima-cdas.or.jp/HICARE>
- ▶ 長崎市長崎原爆資料館  
<http://www.us1.nagasaki-noc.ne.jp/nacity/na-bomb/>
- ▶ 長崎総合科学大学「ノー・モア・ナガサキ」(原爆資料館の疑似体験など)  
<http://base.mng.nias.ac.jp/>
- 【民間組織など】
- ▶ ヒロシマ通信(原医研宇吹助教授資料集)  
<http://www.rbm.hiroshima-u.ac.jp/ubuki/>
- ▶ A-Bomb WWW Museum(原爆被害記録)  
<http://www.csi.ad.jp/ABOMB/index-j.html>
- ▶ 中国新聞社(原爆平和記事など)  
<http://www.chugoku-np.co.jp/>
- ▶ 中国放送の平和のページ  
<http://www.rcc-hiroshima.co.jp/peace/>
- ▶ ヒロシマ(土田ヒロミ「ヒロシマ写真集」)  
<http://haystack.lclark.edu/~history/HIROSHIMA/gallery.html>

